

各地の自然災害で被災された方々、戦禍の中にある方々に、心からお見舞い申し上げます。
神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

教会からのオススメの一冊

「茶の湯の心で聖書を読めば」

高橋敏夫・著 (いのちのことは社フォレストブック発行)

今回は、一味変わった一冊をご紹介します。「茶の湯の心で聖書を読めば」の著者、高橋敏夫氏は、春日部福音自由教会の牧師です。同教会には、なんと、茶室があります。教会と茶室とは、意外な組み合わせのように感じますね。そこにこそ、著者が本書に込めた心があるのです。

聖書には、このようなイエス・キリストの言葉があります、「あなたがたの父があわれみ深いように、あなたがたも、あわれみ深くなりなさい」。あわれみ深く生きることが、千利休の「侘び茶の心」に通じている、というのが本書のテーマです。

例えば、もてなす心が、茶会の心得の一つに挙げられます。「一期一会」を大切に、招く側と招かれる側がお茶を通じて心をかよわせ、お互いの心に寄り添うことこそ、もてなしの真髄とされます。筆者はここに、キリストの招きのひな形を見ると語ります。キリストも、豊かな神様の恵み

の中に私たちを招き、私たちの心に寄り添ってくださるのです。私たちが悲しいときには励ましてくださり、疲れたときにはいたわってくださるお方です。

また、仕える心も、茶会の心得の一つとされます。利休は客人を迎えるに当たり、たっぷりの水を用意したと言われます。客人の最初の所作は、それを手水として使うことだったそうです。キリストも、十字架にかかる前夜、たらいに水を汲み、その水で弟子たちの足を洗われました。当時、足を洗うのは奴隷の仕事でした。キリストは、自らの姿をもって仕える心の模範を示されたのです。

他にもキリスト教との共通点が深く、わかりやすく語られています。ぜひ一度手に取って読んでいただきたい一冊です。



Question 07 教会によせられた質問にお答えします。

お祈りの後に言う「アーメン」にはどういう意味があるのですか？

「アーメン」の語源は、「確かである」「堅くする」という意味のヘブル語です。聖書では、神様への賛美に対する賛同や応答として多く使われています。“今神様にささげた言葉に、私も賛同します、私も同じ心で応答します”、ということです。そこから、お祈りや賛美歌の最後に「アーメン」と言うようになり、“今のお祈りや賛美に偽りはありません”、また、“私も同じ心です”という姿勢を、神様の前に表す言葉として用いられています。

宝塚栄光教会 牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com

礼拝 毎週日曜日
10:30~11:40

希望のダイヤル (聖書のお話)
0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

インターネットでも
配信中

わたしたちは旧・統一協会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。

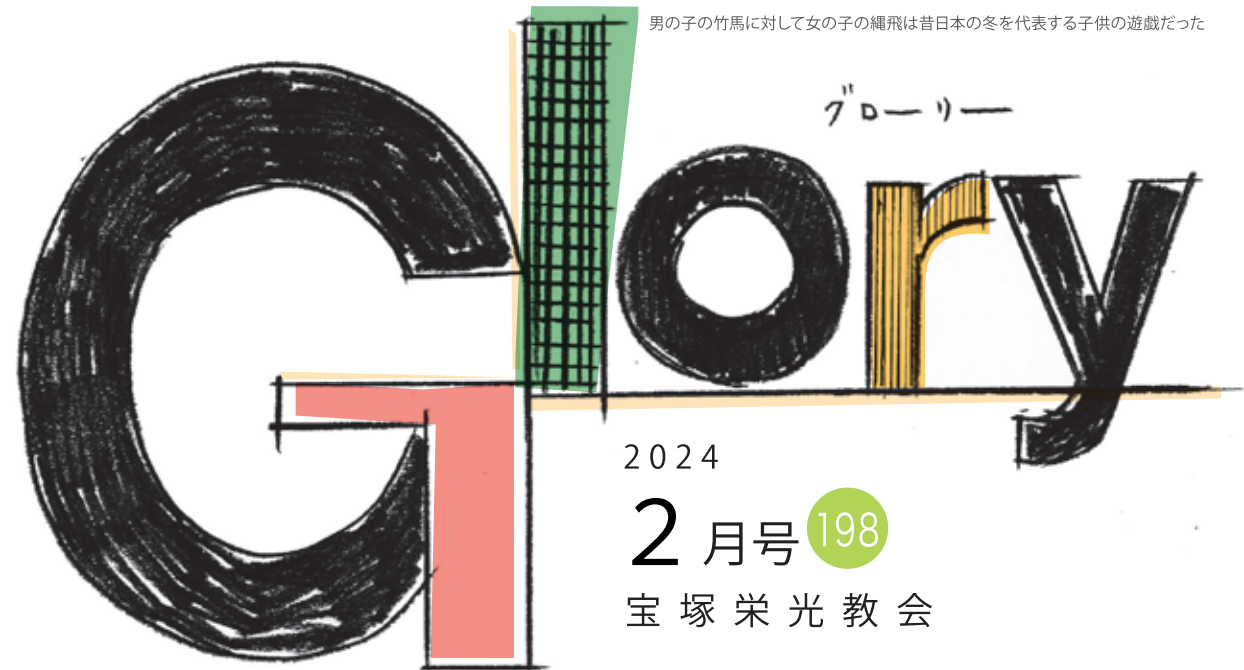
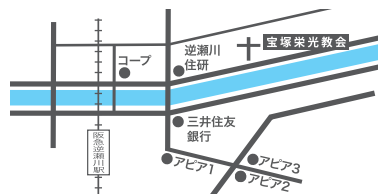
ケアプラン
デイサービス

オリーブの実

教会が運営する介護サービスです。

「ケアプラン オリーブの実」
☎:0797-73-6055

「デイサービス オリーブの実」
☎:0797-73-6077



男の子の竹馬に対して女の子の縄飛は昔日本の冬を代表する子供の遊戯だった

雪のように白く

何年か前に、飛行機で信州を訪れることがあり、雪化粧をした中央アルプスの美しい姿を窓から見て感動しました。真っ白な雪を見ていると、心が洗われるような気がします。

聖書の中に、こういう言葉があります。「たとえ、あなたがたの罪が緋(ひ)のように赤くても、雪のように白くなる。たとえ、紅(くれない)のように赤くても、羊の毛のようになる。」(イザヤ1:18)

雪は白いです。しかし、その雪よりも白いものがあります。それは、罪が赦された心です。

私たちは、真の神を知らず、神から遠く離れていました。聖書の言う罪とは、神から離れている心の状態のことです。私たちが人を憎んだり、恨んだり、傷つけたりするのは、真の神から離れているからです。神によって造られた私たちは、神から離れては生きていくことができません。罪を持ったままでは、私たちは滅んでしまうのです。

そんな私たちが、罪と滅びから救われるために、神は、そのひとり子イエス・キリストをお送りくださいました。キリストは、罪のないお方でしたのに、私たちのために十字架

にかかってくださいました。

十字架刑というのは、当時、極悪人が処せられる死刑の方法でした。普通、十字架につけられた罪びとは、苦痛のためにわめきちらし、周囲の人々をのろいながら死んでいったのだそうです。しかし、キリストは、想像を絶する苦しみの中で、「父よ、彼らをお赦してください…」と、相手のために祈りながら死んでいかれたのです。

このキリストの十字架が自分の罪のためだったと信じるなら、どんな人でも罪が赦され、救われることができます。私たちの罪は、そう簡単に赦されるものではありませんでした。「たとえ、あなたがたの罪が緋のように赤くても」とありますが、私たちの罪の染みは、どんなに頑張っても消すことができないものでした。しかし、キリストの十字架の血は、私たちから罪の染みを消し去り、雪のように白くしてくださるのです。

あなたの心はいかがでしょうか。雪のように白い心にしていただけますか。そのままイエス様のもとにおいでください。イエス様はあなたを待っておられます。



「水仙」－ニホンスイセン－

冷たい風の中 庭の水仙の花が 開き始めた
水仙は 寒さに十分当たらないと 花が咲かないそうだ
しんと張りつめた 冬の静けさの中 ひそやかさと
清らかさが 混じり合って 心の奥まで届いてくるようだ
水仙の美しさは 気品ある 甘い香りも伴って
冬のさなか 春の幻が見えてくる思いである

地中海沿岸地方が原産で 中国を經由して
日本に入ってきたと伝えられている
室町時代以前だという
水仙とは 水辺を好む仙人のような
清らかな花 という意味だそうだ

日本では 暖かい海岸近くに自生し
各地で野生化している水仙が多い
時に 雪中から咲き出す水仙を 雪中花と呼ぶそうだ
強い生命力は 静かに咲いているだけでも 伝わってくるようだ

神よ 守ってください あなたを避けどころとする わたしを
主に申します 「あなたは わたしの主
あなたのほかに わたしの幸いはありません」